

日本あちこち河川遡行記(第 240 回)

京都 1-2-2.鴨 川(その 2) 中盤 平成 30 年 5 月 20 日(日) 快晴

[続き]

七条大橋を渡り再び左岸側の川端通りを北に向かう。通りの東側に現代的なすっきりとした建物が建っている。大きな壁面の南端に「京都美術工芸大学」と書かれている。さすがアートの大学である。京都には多くの大学が有るが遡行で見かけた最初の大学である。国立の京都工芸繊維大学も有るのでお間違えの無いように！



15.京都美術工芸大学の建物は流石

次に現れいでし橋は市道の「正面橋」である。3 径間連続 2 主桁のスレンダーな橋だが、桁を良く見ると元ゲルバー桁だった切欠きを補強した跡が有る。戦前から戦後に長径間の橋に多く採用されたゲルバー桁橋だが耐震性に問題があるので連続桁に変えたのだろう。



16.正面橋は今は連続桁だが元はゲルバー桁だ

更に川端通りを進むと鴨川のスター、五条大橋が横断している。橋は国道 1 号線で両側に広い歩道を持つ 6 車線の幅の広い橋である。高欄は立派な石造り

で擬宝珠も有る京都らしい佇まいである。橋を渡ると、西際の中央分離帯には橋の上で出会った義経と弁慶の故事にちなんだ可愛い人形が置かれている。実はこの後どんでん返しがあるのである。



17.五条大橋は国道1号線

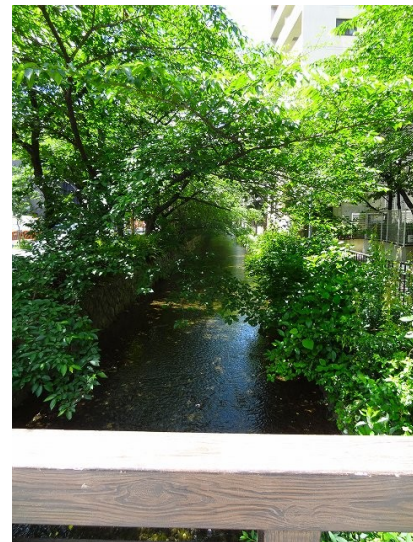


18.義経と弁慶像は人形風

右岸側の川沿いは料亭と床が並び道が無いので直ぐ西側を流れる「高瀬川」沿いの道に入る。ズラリと並んだ料亭の入口には「床」開設の暖簾や看板が立っている。川の西側なら床に夕陽が当たらないので夕方から営業可能である思ったよりも狭い「高瀬川」の両側には背の低い木々が生い茂っている。角倉了以が伏見から二条までの船運の為に開削した運河であるが、直ぐ横に鴨川があるのに何でだろう？



19.「床」の季節到来で料亭はかきいれ



20.鴨川の西を流れる「高瀬川」

次の橋「松原橋」にやって来ると橋際に高札が立っている。読んで見ると、この橋が本来の五条大橋であったが豊臣秀吉が「方広寺大仏殿」の造営にあた

り、この地に架かっていた橋を、橋の無かった現在の五条通に転用し五条橋と称した。それ以後この地の橋の名前は松原橋と改名させられた、とある。時の権力者は無茶をしような一。

これまで地図を見て疑問に思っていたことがこれで氷解した。京の東西の大通りは北から二条（どういう訳か一条が無い。多分「丸太町通」が一条に相当するのだろう）、三条・・九条と続いているが、その通りの間隔が概ね500mなのに四条と五条の間が800mほど、五条と六条の間が200mと不規則になっている。松原通りを五条通りとすれば見事に500m間隔になる。

橋から上流側を見ると多くの床が河川敷に迫り出している。川面には鳥よけのためかロープが対岸に張り渡されている。



21.「松原橋」が本来の五条大橋だった

22.「床」は準備万端どすえ

再び川端通りを北に進む。「団栗橋」を見ると直ぐに四条大橋に着く。四条通りは京都の最もにぎやかな繁華街で多くの観光客とユーが溢れている。交差点から東の八坂さんの方を見ると一般車が少なく多くの市バスが際立つ。路線バス以外の大型車と自転車通行禁止の規制標識が立っている。



23.四条大橋東から八坂神社を見る

橋の北東際に毛氈の上に傘を広げた花魁が立っている。観光客が並んで写真

を撮るのも OK と、多くのユー達が写真を撮っている。花魁の横にはラーメンの見本写真と店名が入った看板が有る。やりまんなー。欧米の通りの変なパフォーマンスよりこちらの方が美的である。直ぐ北側には歌舞伎の祖「出雲阿国」像が有る。四条河原で踊ったのだろう。



24.橋際に花魁が立っている



25.「出雲阿国」像が直ぐ北に

交差点の南東側には南座が改修工事中でシートに覆われている。北側の少し離れた建物には北座の文字が見られる。かつてはここにも劇場が有ったようだ。ビルの屋上には交差点方向を見ている多くのテレビカメラが並んでいる。



26.四条大橋東の交差点を多くのテレビカメラが見ている

川端通りと遊歩道を行ったり来たり、上がったたり下がったりを繰り返しの遊行である。三条大橋に近づくと対岸に「先斗町歌舞練場」のレトロな建物が見える。洛中には南北に細長く狭い町が無数にあるのが地図を見れば分かる。東京や大阪は狭い町を一緒にして新しい町名にしていたが、京はそれを許さなかったようだ。



27.「先斗町歌舞練場」は川の西側に

三条まで来るとかつての京阪の終点三条駅は地下化に伴い跡形も無く、広い敷地はバスセンターになっている。ここで特急（テレビカー）から京津線に乗り換え急坂の道路を電車が登って行くのを覚えている。かつての京阪の商業ソングは「天満橋から三条へー・・・」であった。今は淀屋橋（中之島からも）から出町柳である。



28.かつての京阪三条駅はバスターミナルに

三条大橋はかつての東海道の起点で橋の東詰には橋の解説板が立っている。西詰にはここが高札場だったことを示す解説板も有る。丁度昼となり直ぐ西に大阪では有名ながんこ寿司が有るので店に入る。店は京都本店と書かれていたので店員に、「大阪の十三が本店なんだが京都にも本店が有るんやね」と言うと、「十三は総本店なんです。」、「そうか」。



29.三條大橋はかつての東海道の起点
だったとさ



30.西詰は高札場だった

[続く]

[